

岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【国語科】

1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒

2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	・抽象的な内容を有する現代文を精読することで、【R】【G】より高次の論理的思考力とそこに書かれている問題を考察し自らの意見を論理的かつ明確に伝える力を育成する。 ・【R】古典教材を読み解く力を高めるとともに、古人の感じ方考え方を理解し伝統文化を尊重する態度を身につけさせる。
発展期 (高1)	・多様な現代文を精読し、【R】論理的思考力と自らの意見を根拠を明確にして伝える力を育成する。 ・本格的に古典教材に取り組み、自らの力で読み解くための【G】基礎力を養成し、【V】日本の伝統文化に対する理解を深めさせる。
充実期 (中2中3)	・身近な問題を扱った現代文を読み、【V】目的や場面に応じた文章の構成や表現効果を理解するとともに、【R】思考力・想像力や感受性を身につけさせる。 ・【V】古典に親しみ、伝統文化への関心を持たせる。
基礎期 (中1)	・「話す・聞く」「書く・読む」などの体験的な言語活動を通じて、【V】幅広い言語表現に触れることで、【R】基礎的国語力を養わせるとともに、自ら表現しようとする姿勢を身につけさせる。

3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3	【深化期】 ・言語活動を通して様々な文章の中に現れた問題や論点を理解しながら考察し、自らの問題として捉え、それに対する意見を論理的かつ明確に言語化することができる。	・論理的文章(社会・文化・言語・環境・科学・情報・国際などをテーマとするもの) ・実用的な文章 ・文学的文章(小説・随想・詩歌など) ・古文(説話・随筆・物語・日記・軍記物語・和歌・近世小説・上代文学) ・漢文(小話・詩文・思想・史話・小説)	・抽象的な内容を有する現代文を精読するとともに、要点をとらえ、思想・文化・科学・芸術などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができる。 ・論理的文章で表現する場面において、客観的な根拠を示しながら自分の考えを説得力をもって伝えることができる。 ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、感じ方、考え方を広げ、人生を豊かにすることができる。 ・複数の資料を読み取ることで、筆者の考えを深く理解したり多角的な視野を持つことができる。
高2	・古典を自らの力で読解し、伝統文化の流れの上にある現在の営みを振り返らせ、人生を豊かにしようとする態度を身につける。		
高1	【発展期】 ・言語活動を通して様々な文章の中に現れた問題や論点を正確に理解し、自分の意見を根拠を明確にして述べる。 ・古典読解の基礎(古典文法・古文単語・漢文句形・漢文語彙等)を習得することで、日本の伝統文化に対する理解を深めさせる。	・論理的文章(社会・文化・言語・環境・科学・情報・国際などをテーマとするもの) ・実用的な文章 ・文学的文章(小説・随想・詩歌など) ・古文(説話・物語・日記・軍記物語・随筆・和歌など) ・漢文(故事成語・寓話・詩文・思想・史話)	・多様な現代文を精読し、社会・科学・文化などについて自分の考えを深めることができる。 ・対話的な学習場面を通して、他者の考えに触れたり、自分の考えを伝えたりする中で、物事を多角的に捉えることができる。 ・古典を理解するための基礎的知識を身につけ、古典に表れた感情や思想を読み取ることができる。
中3	【充実期】 ・自分の考えを分かりやすく伝えたり他者の考えを的確に聞き取ったりするとともに、話し合いで考えを深めることができる。 ・文章の構成や表現効果を理解するとともに思考力・想像力を身につけ、伝えたい内容を的確に表現することができる。 ・様々な文章を読み内容を捉えると共に、自己の考えを深めることができる。 ・読書を通して自身の成長を目指す態度を育むことができる。 ・古文と漢文の名文を読み、その表現と思想を学ぶ。	・論説文・説明文・鑑賞文・物語・随筆・詩・短歌・俳句 ・文法 ・古典(随筆・軍記物語・和歌・漢詩・論語)	・【V】身近な問題を扱った文章を読んで、そこに表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができる。 ・【G】グループ学習やペア学習によって他者の意見を聞くとともに、自分の意見を的確に伝えることができる。 ・【R】意見文や鑑賞文等を書き、互いに交流することで、自分の文章をよりよしたり、他者の捉え方や表現の仕方のよさに気づいたりすることができる。 ・古文・漢文の音読や暗唱を通じて独特の調子を味わい、古典に表れたものの見方や考え方に触れることで古典の世界を楽しむことができる。
中2			
中1	【基礎期】 ・自分の考えを話し、他者の考えを聞き取る力を身につけることができる。 ・分かりやすい文章を書こうとする意欲・態度を育むことができる。 ・様々な文章を読み、内容を的確に理解する基礎的国語力を身につけることができる。 ・読書に親しもうとする態度を身につけることができる。	・論説文・説明文・鑑賞文・物語・随筆・詩 ・文法 ・古典(物語・寓話・故事成語)	・【V】幅広い言語表現に触れ、【R】その構成や表現を学び、自分の表現に生かすことができる。 ・【G】スピーチ学習によって自分の考えを伝えることができる。 ・グループ学習を通して自分の考えを相手に伝えるときに他者の意見を的確に捉えることができる。

# 岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【数学科】

## 1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

- 1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
- 2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
- 3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
- 4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
- 5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒

## 2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	数学的活動を通じて、新しい考えを生成するための問題解決力・発見力・創造力を育成する。また、 <b>論理的な思考力、批判的な思考力【V】</b> を身につけ、次なる <b>新たな課題を自ら発見し、解決を目指す思考力【GR】</b> を伸ばさせる。
発展期 (高1)	数学的活動を通じて、言語・数・情報を道具として使いこなすスキルである基礎力を固める姿勢を確立させる。また、基礎力を支えにし、 <b>自らが学び習得した考えを、他者との考えと比較・統合し【V】、積極的によりよい解決法を模索する態度【G】</b> や <b>新しい知識を創り出す思考力を育成【R】</b> する。
充実期 (中2中3)	数学的活動を通じて、 <b>多様に考える力、統合・一般化する力、分類・整理する力、予想する力、検証する力【V】</b> 、 <b>自主的に問題を発見・解決しようとする態度【GR】</b> を育成する。また、数学的な表現力を活用させる。
基礎期 (中1)	数学的活動を通じて、 <b>演繹的・帰納的・類比的に数学を推論する力【V】</b> 、 <b>自主的に問題を解決しようとする態度【G】</b> を育成する。また、数学的な表現力を身につけさせる。

## 3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3	【深化期】 Ⅱ B.C:活用面で基礎的な役割を果たす分野において、広い数学的な資質・能力を伸ばすことができる。 (理系選択)Ⅲ:より深く数学を学習しようとする姿勢を確立させて、将来の専門性に必要な知識・技能を身につける。	Ⅱ:いろいろな式、図形と方程式、指数対数関数、三角関数、微分積分の考え B:数列、統計的な推測 C:ベクトル、平面上の曲線と複素数平面、 (理系選択) Ⅲ:極限、微分法、積分法	入試問題演習などにおいて、難問にも根気強く取り組み <b>論理を構築していく力や創造力【V】</b> を育成する。自分の考えを他者にわかりやすく発表したり他者からの説明に対して質問をしたりするなどの活動を通して、思考力や表現力を様々な場面に活用する。また、他教科(理科)との合同授業により数学が活用できる場面を実感したり、日常生活や社会生活において、数学が活用できる場面を実感し、 <b>意欲的に数学の有用性を探ることができる。【GR】</b>
高2			
高1	【発展期】 Ⅰ A:高校数学の基礎・基本となる知識や技能、活用する能力を身につける。数学を活用する態度を身につけて、数学のよさを認識できる。	Ⅰ:数と式、図形と計量、二次関数、データの分析 A:場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動(整数の性質)	他者の考えに触れたり、自分の考えを他者に伝えるなどの対話的な学習場面を通して、 <b>いろいろな考えを融合してよりよい結論を導き【V】</b> たり、互いを高めあう姿勢を育む。中学時より高度な作問に取り組んだり、 <b>証明を様々な視点から考えたり、解法の別解を探ったりするなど、様々な角度から数学を考えようとする。【GR】</b>
中3	【充実期】 A:数量関係や法則を文字式を用いて説明できる。実数まで数の世界を広げて表現・処理できる。B:図形の合同・相似の理解により、図形を論理的に考察し表現できる。C:方程式と関数を統合的に理解し、具体的事象からの予測ができる。表、式、グラフを相互に関連つけて考察・表現できる。D:データの分布に着目し、傾向や起こりやすさについて考察・判断ができる。標本調査により母集団の傾向を判断し、調査方法や結果を考察できる。	A:文字を用いた式の四則演算 A:連立二元一次方程式 B:基本的な平面図形と平行線の性質 B:図形の合同 C:一次関数 D:データ分析の比較 D:場合の数を基にして得られる確率 A:平方根 A:式の展開と因数分解 A:二次方程式 B:図形の相似 B:円周角と中心角 B:三平方の定理 C:関数 $y=ax^2$ D:標本調査	作問に取り組んだり、 <b>課題を発見し研究したりする【R】</b> などの活動の中で、「個人で追究する時間」、「小集団で互いの考えについて意見交換する時間」、「全体で追究を深める時間」という3段階の追究を行い、 <b>自己の考えと比較・検証することで数学的な発想力や思考力・判断力・表現力【V】</b> を育むとともに、 <b>主体的に考察しようとする意欲【G】</b> を高める。
中2			
中1	【基礎期】 A:数の範囲を拡張し、数の性質について考察できる。文字式の有用性を認識し、数量関係や法則を考察できる。B:図形の性質や関係を論理的に考察し表現できる。C:具体的な事象について関数関係を見だし、グラフなどを用いて考察できる。D:目的に応じて整理し、資料の傾向を読み取ることができる。	A:正の数・負の数 A:文字を用いた式 A:一元一次方程式 B:平面図形 B:空間図形 C:比例、反比例 D:データの分布の傾向 D:多数の観察や多回数の試行によって得られる確率	様々な問題に触れたり体験的活動や調査などを行ったりする中で、 <b>数学の有用性を知り、数学に対する興味関心を高めることにより、積極的に問題を解決しようとする姿勢【VG】</b> を養う。また、ペアやグループでの話し合いや他者への説明を行うことにより、数学的表現力を身につける。

# 岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【社会・地公科】

## 1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

- 1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
- 2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
- 3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
- 4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
- 5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒

## 2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	現代社会の背景となる歴史・地理や現代社会の原理的基礎をなす公民の内容について、より広く深く体系的に学習し、社会的人間としての自己と社会とのあるべき関わり方について自ら考えていく能力を育成する。【VGR】
発展期 (高1)	現代社会の動きについての動態的学習をもとに、社会を取り巻く諸課題について地理的・歴史的な視点から分析し、課題解決に向けて考察する力を養っていく。併せて、読解力・論述力・発表力の向上を目指す。【VGR】
充実期 (中2中3)	日本と世界の地理・歴史の発展学習を背景に、現代社会の政治・経済の基本的しくみや文化について、地域社会や国際社会の動向と関連づけて理解する視点を身につけさせる。【VGR】
基礎期 (中1)	身近な地域の学習を起点に、日本と世界の姿についての地理的・歴史的に導き、社会を多面的・多角的に把握していく基礎的学力を養う。【VR】

## 3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3	【深化期】 ・地歴:わが国及び世界の歴史・地理について体系的な理解と認識を深め、グローバル化した世界の中で主体的に生き、平和で民主的な社会を形成しようとする。 ・公民:現代社会について広い視野に立って分析し、他者とともに生きる主体としての自己を確立する。	・地歴:古代から現代までの日本および世界の歴史と諸事象の因果関係。さまざまな地図と地理的技能、現代世界の系統地理的考察、地誌的考察。 ・公民:青年期の課題と人間の自覚。現代と倫理。	・時間的・空間的に幅広い視野に立ち、歴史・地理的事象を論述することができる。【VGR】 ・時事問題について、歴史的地理的に考察することができる。【VR】 ・歴史的・地理的学習の普遍化によって、時間的・空間的な他者理解を深化させ、情報リテラシー能力を身に付ける。【GR】 ・自己の内面と世界存在についての省察をもとに、意欲的に人生を切り開こうとする。【GR】
高2			
高1	【発展期】 ・現代の社会を成り立たせている土台として現代社会の地理的・歴史的な背景と基本的なしくみを理解する。また、現代社会の動態的学習をもとに、その課題解決に向けて考察する力を養う。	・近現代の日本および世界の歴史と諸事象の因果関係。 ・さまざまな地図と地理的技能。	・現代社会の地理的・歴史的な背景やしくみについて関心を持ち、学習事項と関連づけることができる。【VGR】 ・地理的・歴史的な事象について、調べた内容をもとにレポートにまとめたり、討論することができる。【GR】
中3	【充実期】 ・地理的分野:世界の諸地域と日本との結びつきの理解、地域調査を軸とした郷土と日本の諸地域との関係を把握する。 ・歴史的分野:世界の歴史を背景としたわが国の歴史の理解、近現代史の動きと郷土の歴史との関わりをとらえ	・世界のさまざまな地域の調査、日本の地域構成、世界と比べた日本の地域的特色、日本の諸地域。 ・中世の日本、近世の日本、開国と近代日本の歩み、二度の世界大戦と日本①②、現代の日本と世界	・身近な地域及び現代という時代を起点にして、日本や世界の諸地域との関わりや、歴史の動きを考察することができる。【VR】 ・自己の生活と現代社会の動向とを関連づけ、現代社会の諸課題を認識する力を身につける。【VGR】
中2	・公民的分野:現代社会を動態的にとらえる見方や考え方を養い、地域や国家の中での自分の生活と関連づける。	・現代社会とわたしたちの生活、人権の尊重と日本国憲法、現代の民主政治と社会、わたしたちの暮らしと経済、地球社会とわたしたち	
中1	【基礎期】 ・地理的分野:身近な地域の地理学習と基本的な地理的技能を身に付ける。 ・歴史的分野:郷土の歴史・伝統・文化と日本の歴史の流れを理解する。	・身近な地域の自然と社会の地理。地図の読図・作図など地理的技能。 ・歴史の流れ、古代～中世までの日本	・地図や年表等を利用して、社会の姿や動きを空間軸・時間軸に沿って把握できる。【VR】 ・図書室やインターネットの情報を利用して、地域の地理・歴史についてまとめることができる。【VR】

# 岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【理科】

## 1. 教育目標(令和6年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒

## 2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	科学的に探究する能力と態度を育成(R)し、事物や現象を分析的、総合的に考察する能力を養うことで自らの考えを発表できるまで深化(G)させる。
発展期 (高1)	自然の事物・現象に対する探究心と理解をさらに高め、目的意識をもって観察や実験などを行うことで主体的に学ぼうとする態度(R)を育てる。
充実期 (中2中3)	自然の事物の成り立ちや現象についての基本的な仕組み・規則性・多様性の理解を深めさせる。その過程で広い視野と科学的な見方・考え方を育てる(V)。
基礎期 (中1)	身のまわりの生物、物質、現象に興味・関心を持たせ(V)、観察、実験、視聴覚教材の利用を通して科学的に探究する能力の基礎と態度を育て(G)、6年間理科を学ぶ基礎を固めさせる。

## 3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3 高2	【深化期】 科学的に探究する能力と態度【R】を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観【V】を身につける。	(普通科人文コース):化学基礎, 生物基礎 (普通科自然コース):2年:化学基礎, 化学, 生物基礎, 物理<選択>, 生物<選択> 3年:化学, 物理<選択>, 生物<選択> (理数科):理数化学, 理数物理<選択>, 理数生物<選択>	人文:自然科学に対する興味・関心を高めさせるために、実験等を活用させながら、時間をかけて丁寧に授業を進めて行く。 自然・理数:内容が本格的になり、難易度も向上するため、主体的に学習ができるような興味・関心を持てるようにする。実験等で本物に触れさせる機会を与えることに加え、現在注目されている研究や未だ不明である問題にも触れながら、発想力や応用力を育てる発問を行う。
高1	【発展期】 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め【R】、目的意識をもって観察、実験【V】などを行うことができる。	(普通科) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎 (理数科) 理数物理, 理数化学, 理数生物	現象論だけでなく、計算力や論理的思考力が問われるようになってくる。授業では実験を多く取り扱うことで、グループ協議・発表等を通じて仮説→検証を理論立てて行える力を養う。また、生活の中で活用されている科学技術に加えて最先端の技術についても取扱い、「なるほど」と思わせる機会を与え続けることで、学習に対する主体性の向上を目指す。
中3 中2	【充実期】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方【V】、基本的な探究する力【G】を養う。	1. 化学変化と原子・分子 2. 動物の生活と生物の変遷 3. 電気の世界 4. 天気とその変化 5. 化学変化とイオン 6. 生命の連続性 7. 運動とエネルギー 8. 地球と宇宙 9. 科学技術と人間 10. 自然と人間 11. 地球と私たちの未来のために	具体的な概念から抽象的な概念を認知していく過渡期である。さまざまな実験や演習をとおして他人と意見交換をしながら形式的認知を加速していく。イメージしにくい概念は、モデル化するスキルも身につける。独立変数(入力変数input variable)から従属変数(結果の変数outcome variable)への関係性(relationship)が考察できるようになるとともに、それを分かりやすく他人に伝えることができる力を身につける。
中1	【基礎期】 自然の事物・現象に進んでかわかり、興味・関心をもって観察、実験【V】などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度【G】を育てる。	1. 身近な生物の観察 2. 植物の世界 3. 身のまわりの物質 4. 身のまわりの現象 5. 大地の変化	理科は自然の現象について学んでいく学問であるので、日常生活で身のまわりのことに対して、「なぜだろう」と考えながら注意して観ることや、自分の意見を積極的に述べたり、友だちの意見にも耳を傾けながら現象について考えたりすることができるようになる。また、観察・実験を通して得られたことを図やグラフを書いて事実合うように考察し発信する態度を身につける。自然の事物・現象を変数で捉えることができるようになる。

# 岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【英語科】

## 1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒

## 2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	社会的な内容に関して論理的に議論する力を身に付ける。
発展期 (高1)	社会的な内容に関して説明したり、意見を論理的に発表し、質疑応答ができる力を身に付ける。
充実期 (中2中3)	他者や身近な社会的な内容について説明したり、意見をかなり論理的に表現する力を身に付ける。
基礎期 (中1)	自分について説明したり、意見をある程度論理的に表現する力を身に付ける。

## 3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3	【深化期】 英検2～準1級 4/2100点 GTEC4: 980点 (R220, L220, W260, S280) CEFR-J: B1.1	【学習材料】 ・コミュ英Ⅲ教科書の英文 【学習活動】 ・話題に応じてディスカッション、ディベート、スピーチ、プレゼン	【I N】・内容理解と情報獲得ができる。 【OUT】・効果的な段落構成と事例を用いて、論点を比較、整理して意見を論理的に発表できる。 ・社会的な内容について高いレベルの語彙を用いて議論できる。 ・ペア、グループ、クラスでの対話、発表活動に貢献できる。
高2	英検2級 4/1980点 GTEC4: 910点 (R200, L200, W240, S270) CEFR-J: A2.2	【学習材料】 ・コミュ英Ⅱ教科書の英文 【学習活動】 ・ディスカッション、ディベート	【I N】・内容理解と情報獲得ができる。 【OUT】・「主張→譲歩→打消し→再主張」という段落構成で意見を論理的に発表できる。 ・社会的な内容について準備を伴う議論や即興の議論ができる。 ・ペア、グループ、クラスでの対話、発表活動に貢献できる。
高1	【発展期】 英検準2～2級 1900点 GTEC4: 850点 (R180, L180, W220, S260) CEFR-J: A2.2	【学習材料】 ・コミュ英Ⅰ教科書の英文 【学習活動】 ・スピーチ、プレゼン、スキットメイキング、Q&A	【I N】・内容理解と情報獲得ができる。 【OUT】・「主張→理由1→理由2→結論」という簡潔な段落構成で意見を論理的に発表できる。 ・社会的な内容について説明ができ、質疑応答等の即興的なやり取りができる。 ・ペア、グループ、クラスでの対話、発表活動に貢献できる。
中3	【充実期】 英検準2～2級 3: 1500 / 4: 1950 GTEC 3: 600 / 4: 850 CEFR-J: A2.2	【学習材料】 ・中3教科書の英文 【学習活動】 ・やや長いスピーチ、プレゼン(発表) ・会話、簡単な議論(やりとり)	【I N】・内容理解と情報獲得ができる。 【OUT】・効果的な理由と具体例をあげながら、意見を表現できる。 ・身近な社会的な内容について説明をすることができ、また、簡単な議論ができる。 ・ペア、グループ、クラスでのやりとり、発表活動ができる。
中2	英検3～準2級 3: 1400 / 4: 1800 GTEC 3: 540 / 4: 770 CEFR-J: A2.1	【学習材料】 ・中2教科書の英文 【学習活動】 ・スピーチ、プレゼン(発表) ・会話を継続(やりとり、EC) ※EC:English Camp	【I N】・内容理解と情報獲得ができる。 【OUT】・理由と具体例をあげながら、意見を表現できる。 ・他者について説明をすることができ、また、簡単な会話を継続することができる。 ・ペア、グループ、クラスでのやりとり、発表活動ができる。
中1	【基礎期】 英検3級 3: 1200/4: 1550 GTEC 3: 430/4: 560 CEFR-J: A1.3 ※3: 3技能、4: 4技能のスコア	【学習材料】 ・中1教科書の英文 【学習活動】 ・簡単なスピーチ、プレゼン(発表) ・簡単な会話(やりとり)	【I N】・内容理解と情報獲得ができる。 【OUT】・理由をあげながら、意見を表現できる。 ・自分について説明ができ、簡単な質疑ができる。 ・ペア、グループ、クラスでのやりとり、発表活動ができる。

備考: ・【I N】はInput (Listening & Reading)、【OUT】はOutput (Speaking & Writing) を表す。  
 ・達成率50%(学年、年次の平均値)を基準とする目標として設定している。  
 ・学年、年次ごとの目標項目の基準は、使用教科書のレベルや量を元に設定している。  
 ・Outputを重視し、育てたい力を詳細に設定している。  
 ・Inputの目標項目はシンプルに設定し、達成度評価には各学年、年次で柔軟に対応できるようにしている。  
 ・GTEC Can-do Statements、英検Can-doリストで求められるスキルを取り入れている。  
 ・高1の1学期中に授業等でスピーチの指導を行い、入学生、進学生ともに英語で発表するための基礎力を身につけさせる。  
 ・AccuracyとFluencyをバランスよく両立するための基礎トレーニングと表現活動を行う。  
 ・習熟度別授業の実施方針については別資料に掲載。

岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【保健体育科】

1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒

2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て(G)、健康・安全を確保して、 <b>生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力</b> を育てる。(V) 個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深め、 <b>生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力</b> を育てる。(R) <保健分野>
発展期 (高1)	<b>運動の合理的、計画的な実践</b> を通して、知識を深めるとともに技能を高め(R)、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。 個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深め、 <b>生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力</b> を育てる。(R) <保健分野>
充実期 (中2中3)	<b>運動を適切におこなう</b> ことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。(G) 健康・安全を確保して、 <b>生涯にわたって運動に親しむ態度</b> を育てる(V) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、 <b>自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力の基礎</b> を培い(R)、 <b>実践力の育成</b> を図る。(G) <保健分野>
基礎期 (中1)	<b>運動の合理的な実践</b> を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、 <b>運動を豊かに実践</b> することができるようにする。(V) 運動を適切におこなうことによって、 <b>体力を高め、心身の調和的発達</b> を図る。(G)

3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3	【発展期】【深化期】 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と <b>運動の合理的、計画的な実践</b> を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身に付ける。自らの健康を保持増進していくための実践力を身に付ける体力を向上させる。	<体育分野> 体づくり運動、体力を高める運動、体力テスト 器械運動(マット運動、跳び箱) 陸上競技(短距離走、ハードル走、走り高跳び、やり投げ) 球技(バレーボール、サッカー、バスケットボール、ソフトボール、卓球、ソフトテニス、バドミントン、ラグビー) 武道(柔道、剣道) ダンス(フォークダンス、創作ダンス、現代的なリズムのダンス) 体育理論 <保健分野> 現代社会と健康 生涯を通じる健康 社会生活と健康	学習に対する主体的な取り組みを促すことによつて(選択授業)、学校の教育活動全体に運動を積極的に取り入れ、卒業後においても、 <b>実生活、実社会の中などで継続的なスポーツライフを営むことができる</b> ようにする。
高2			中学校における学習の基礎の上に、心身の発達に応じてより高度な知識や技能を身に付け、健康・安全や運動についての理解と <b>運動の合理的、計画的な実践力</b> を育てる。
高1			<保健分野> 健康に関する個人の適切な意志決定や行動選択及び健康的な社会環境づくりなどの重要性について理解を深める。 <b>心身の健康の保持増進を図るための思考力・判断力などの資質や能力</b> を育成する
中3	【充実期】 集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を磨くとともに、 <b>運動に関する論理的思考力</b> を身に付ける。 個人生活における健康・安全に関する内容を科学的に理解するとともに、 <b>実生活に生かせる</b> ようにする。	体づくり運動と体力テスト 器械運動(マット運動、鉄棒、跳び箱) 陸上競技(短距離走、長距離走、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳び) 球技(バレーボール、サッカー、バスケットボール、ソフトボール、バドミントン、ソフトテニス) 武道(剣道) ダンス(フォークダンス、創作ダンス、現代的なリズムのダンス) 体育理論 <保健分野> 心身の機能の発達と心の健康 健康と環境 傷害の防止 健康な生活と疾病の予防	種目の特性や発達段階を考慮して、臨機応変に男女共習・別集を使い分ける。健康・安全や <b>運動についての理解と実践</b> を通して、 <b>生涯にわたってスポーツに関わる態度を形作る</b> 。運動を通して豊かなコミュニケーション力を育成し、健康の保持増進と体力の向上を図る。スポーツの楽しみ方を生徒が自ら工夫でき、思考力、判断力、表現力の育成につなげていく。
中2			<保健分野> 健康と環境の関わり、健康な生活と病気の予防について、自己や他者の健康を守り、 <b>生涯にわたって健康を保持増進しようとする意志と態度</b> を養う。
中1	【基礎期】 様々な種目の運動を学習するなかで、それぞれの運動の特性を味わい、仲間と共に体を動かす楽しさや心地よさを味わえるようにする。	男女共習の授業形態をとり、 <b>基礎的・基本的な知識・技能の習得</b> を図る。「差」を「違い」と捉えて、個を生かす授業を進める。生徒同士の関係が固定化しないよう、流動的なグループで柔軟に人間関係がつけれる集団を形成する。様々な領域の運動に親しむことで、その種目の特性を味わうことができる。思春期の心身の発達と心の健康について理解し、自己形成のために必要なことやストレスへの対処法を学ぶ。	

# 岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【家庭科】

## 1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

- 1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
- 2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
- 3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
- 4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
- 5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒

## 2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	
発展期 (高1)	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、 <b>家庭や地域の生活課題を多面的・多角的にとらえ【R】将来を見通して【V】、主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る【G】</b> 能力と実践的な態度を育てる。
充実期 (中2中3)	<b>自分や家族の衣生活・消費生活</b> に関心を持ち、 <b>課題をもって生活について工夫し【RV】、計画を立てて実践【G】</b> できるようにする。
基礎期 (中1)	<b>自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり</b> について <b>関心を持ち、考える【RV】</b> 態度を育てる。

## 3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3	【深化期】		
高2			
高1	【発展期】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解するとともに、生活に必要な知識と技術を習得し、主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を身につける。	家庭基礎 ①青年期の自立と家族・家庭 ②衣生活の管理と健康 ③食生活の管理と健康 ④消費行動と環境 ⑤乳幼児の発達と保育・福祉 ⑥高齢者の生活と福祉	体験活動やグループ活動で生徒同士が協働し、家庭・地域社会との関わりを理解し、課題を発見し解決できる力を身に付ける。また、ホームプロジェクト等を取り入れ、生徒が <b>家庭・社会生活において将来を見通して【V】、考え実践【G】</b> していくことができる能力を養う。様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとする <b>と</b> ともに、 <b>自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする【G】</b> 実践的な態度を養う。
中3	【充実期】衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な知識及び技術を習得するとともに、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を身につける。	衣服の選択と手入れ 衣生活の工夫(あずま製作) 衣服の着装(浴衣着付け実習) 地域の衣文化(作州絨) 住居の役割と安全な住まい方 幼児の生活と家族(保育実習) 消費生活と環境	衣食住などに関する実践的な学習活動、問題解決的な学習を通して、中学生としての自己の生活の自立を図り、子育てや心の安らぎなど家庭の機能を理解すると共に、 <b>これからの生活を展望し、課題をもって生活をよりよくしようとする姿勢【VR】</b> を養う。また、ペアやグループでの話し合いや他者への説明をおこなうことにより、表現力を身につける。
中2			
中1	【基礎期】衣食などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解する。	自分の成長と家族・地域 中学生の食生活と栄養 献立作りと食品の選択 日常食の調理と地域の食文化(地域の食材を生かした調理) 生活を豊かにするための工夫(さしこ製作)	日常食の調理や郷土料理、被服実習など体験的活動を通して、家庭科に対する興味関心を高める。また、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、 <b>自分の生活に関心を持ち、問題を解決しようとする姿勢【VR】</b> を養う。

# 岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【音楽科】

## 1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

- |  |
|--|
| 1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒 |
| 2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒                         |
| 3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒           |
| 4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒                 |
| 5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒                     |

## 2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	専門的な技能や知識を深め、 <b>将来にわたって音楽を追究していく素養</b> を身につけさせる。(G)
発展期 (高1)	より豊かな表現や音楽的知識を求めることにより、 <b>生涯にわたって音楽を愛好する心</b> を育てる。(V)
充実期 (中2中3)	幅広い音楽活動の中から、 <b>集団での活動に中心を置き、リーダーの育成</b> を目指しながら、 <b>音楽の美しさ楽しさを求め</b> させる。(G)
基礎期 (中1)	音楽活動を通して、音楽の <b>美しさ面白さ</b> を感得させ、音楽を愛好する心情を育てる。また、 <b>小集団での音楽表現</b> に取り組ませる。(G)

## 3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3 高2	【深化期】 <b>専門的な知識、表現を身につけさせ、生涯を通じて音楽に取り組める素養を育む。</b> しっかりとした基礎に基づいた表現や技術の中から、より発展的な表現を求めさせる。	アカペラの混声四部合唱や器楽合奏の中から、自らが楽しむことができる音楽を求めさせる。専門的な発声による歌唱表現や高度な技術による楽器演奏などに取り組ませ、将来に繋がる技能を身につけさせる。	ヴォーカルアンサンブルや器楽アンサンブルなど <b>小集団での音楽表現</b> に取り組ませる。音楽大学や教育系大学の音楽への進学を目指した、より <b>専門的な取り組み</b> をさせる。
高1	【発展期】より高度な表現力を身につけさせ、混声合唱や器楽合奏等の <b>集団活動の中での音楽の美しさ楽しさを味わわせる。</b> 進学生と入学生との融合。	混声四部合唱に取り組ませ、高度な合唱曲に取り組ませる。多様な楽器を使い、小集団の中での一人ひとりの役割を体得させる。	合唱や合奏の中で、 <b>自らの役割や全体としての表現を考えさせる。</b> 自主的な、自らを <b>チェックし発展させる音楽活動</b> を促す。
中3 中2	発展的な混声合唱に取り組ませ、豊かな表現力を身につけさせ、音楽の仕組みや美しさを感じ取らせる。 <b>小集団の中でのリーダーを養成する。</b> 我が国の伝統音楽に親しませ、表現活動へつなげる。	響きのある発声を身につけさせ、混声3部合唱を中心に、より高度な合唱に取り組ませることにより、表現の幅を広げさせる。簡単な器楽アンサンブルに取り組ませ、豊かな表現を求めるとともに、 <b>集団での活動の大切さ</b> を学ばせる。和楽器を中心に、我が国の伝統音楽に取り組ませる。	変声期を迎え、適切な発声を身につけさせ、混声合唱の中から、豊かな表現力を作り上げさせる。リコーダーを中心として、器楽アンサンブルの楽しさを味わわせる。和楽器を使った表現に取り組ませる。
中1	【基礎期】基礎的な合唱を中心に <b>取り組ませ、集団の中で作られる音楽の美しさ楽しさを味わわせる。</b>	合唱の基礎練習をもとに、混声合唱に取り組む。器楽では、アルトリコーダーを中心に、基礎的な奏法を身につけさせる。	簡単な二部合唱から、混声三部合唱に取り組ませる。アルトリコーダーを中心とした、器楽アンサンブルに取り組ませる。

# 岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【美術科】

## 1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

- 1 習得した知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
- 2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
- 3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
- 4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
- 5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒

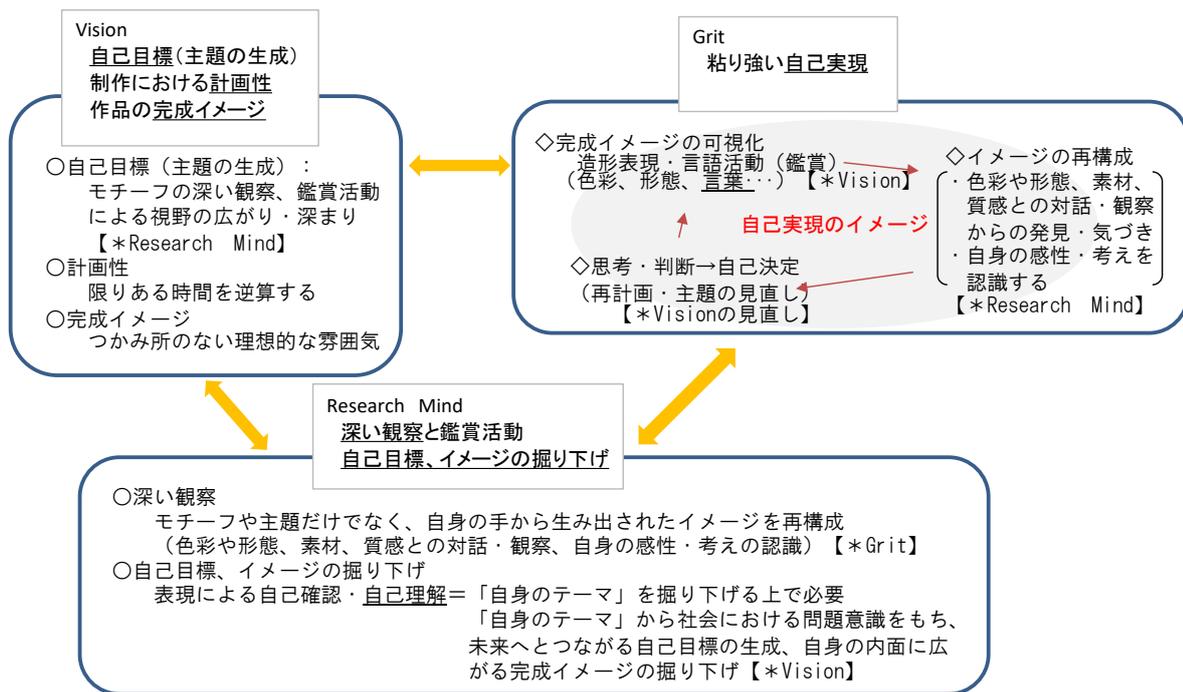
## 2. 指導の方針 美術では表現と鑑賞とが密接に絡み合っており、VGRIについてもそれぞれの活動の中で相互に関連し合い育成される(図1)

深化期 (高2高3)	①古代から現代まで幅広い絵画や彫刻、デザインなど様々な作品の鑑賞や、生徒同士の作品を鑑賞する「相互鑑賞」を通じ、またSEL(social emotional learning:SGEなど教育心理プログラムを用いた社会性と情動の教育的)的手法を取り入れ、主題の生成を促し完成形のイメージが持てる(V)ような題材設定と導入の工夫を行う。	→	自分の歴史や「強み」に目を向けた「自己受容」、スペキュラティブ(問題提起)デザインをテーマとし、自己完結で終わらない創作を促し共同体感覚を養う(VGR)。
発展期 (高1)	②完成形のイメージの可視化(色や形、ことばなどの表現)を通じて、色彩や形態、素材、質感における自己感覚との対話・観察・思考を行い、発見・気づきを促し改めて完成形のイメージについて思考・判断し、再計画や主題の見直しを自己決定し、粘り強く自己実現(G)を果たせるよう促す。	→	主題設定などに自己決定の場面(V)を増やし、他者の視点をより意識した内面の掘り下げや身体感覚を育む(V,R)。長期的な見直しをもった創作をする(VG)。
充実期 (中2中3)	③鑑賞から創作、相互鑑賞の過程のなかで対象物や自己のイメージを深く見つめたり掘り下げたりしながら(R)自己理解、他者理解をいっそう進め、新たなイメージの生成、自己受容に向かうよう促す。	→	他者の視点や地域の良さを伝えるなど、(V)(R)に広がりを持たせる一方、思春期を迎えるに当たって内面を掘り下げられる(G)題材の設定をする。
基礎期 (中1)		→	「対象の観察・他者の作品鑑賞・自身の表現物の観察」(R)→新たな目標(V)→粘り強い創作(G)といった、美術におけるVGRサイクルの基礎基本を身につける。

## 3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・VGRを育む学習方法
高3	【深化期】 美術Ⅲ:美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高めることができる。	美術Ⅲ:アーティストとして旅立つ前に 【1学期】響きあうイメージ～オマージュ作品の創造～ 【2学期】ポートフォリオ作成	・内面を掘り下げ、自身をどのように他者に伝えるのか、考察し表現することができる。また「問題提起するデザイン」や「自身の強み」を題材に自由な発想で地球上の問題をデザインの方や「自分にできること」に着目し解決するための方策を考察・表現できる。授業内で終わらない、外に向けたビジョンを持つことができる(VGR)
高2	美術Ⅱ:美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることができる。	美術Ⅱ:美術の力 【1学期】これが私の生きる道～伝説映画を紹介するポスター～ 【2学期】全く意味のないデザイン～リフレーミングからスペキュラティブデザインへ～ 【3学期】ストレンクス・キャラクター～自分の強みを体現したマスコット～	・学習方法 表現活動⇄鑑賞活動(相互鑑賞含む)
高1	【発展期】 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることができる。	美術Ⅰ:自己理解 【1学期】 ①オリエンテーション～芸術ってなんだろう?～ ②わたしの魅力を伝える名刺 ③西洋絵画史入門! ④絵画は作者の見美鏡～こだわりの視点、紹介します～ 【2学期】 ①触楽入門 ②「1億感のベイビー」のための天命反転彫刻 ③1枚のポートレイトの謎 【3学期】「私」という名のプラント～マクガフィンのプラントを映かせるジョハリのプラント～	・自身の興味関心を見つめ、主題を自己決定し、長期スパンで計画(VG)を持ち、自己実現ができる。 過去の絵画作品から、時代や作家のテーマを読み取り、自作に生かしたり、生命体の本質をえらいつつ身体感覚を駆使した創作ができる(R)。 他者の視点を取り入れ、自身の内面をより深く掘り下げた表現を行うことができる(VGR)。 自他の作品や価値観を認め合い、多様な感性を尊重することができる。
中3	【充実期】 (1)主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高めることができる。 (2)対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばすことができる。	美術3 【1学期】オノマトペ～オノマトペを感じる魔法のペン～ 【2学期】サンキャッチャーマッププロジェクト～美術国八十景～ 【3学期】3年間のハンティングトロフィー～私に贈る最高賞でしよう～ 美術2 【1学期】 ①UKIYO入門～北斎とゴッホ～ ②津中に必要なピクトグラム ③自分マークと色相環プロジェクト 【2学期】 ①夢を叶えるファンタジーアニマルズ ②芦雪の《虎図》 【3学期】名画の裏側	・他者の視点を意識したり、自身の住んでいる地域の良さを調べ伝えるなど、VisionとResearch Mindに広がりを持った考察・表現ができています。 思春期を迎えるに当たって自身のことや、取り巻く環境など内面を掘り下げた(VR)表現ができています。 「上手、下手」といった価値観で物事を測らず、二生懸命、こだわりのもった創造活動(G)ができる基礎的な表現力を身につけている。 多様な鑑賞活動や共同制作を通じて、作品の造形的なよさや違いについて追求し、また自他の作品や価値観を認め合い、多様な感性を大切に、認め合うことができている(R)。
中2	(3)自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高めることができる。		・学習方法 表現活動⇄鑑賞活動(相互鑑賞含む)
中1	【基礎期】 (1)楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てることができる。 (2)対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てることができる。 (3)自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てることができる。	美術1【1学期】 ①オリエンテーション～美術ってなんだろう～ ②私の色相環～色見本をつくらう～ ③MYモダンテクニク① ④カミオンが隠れている!? ⑤目は口ほどにものを言う～風神雷神図屏風～ 【2学期】 ①イケてる☆推しストーン～石さんのイケてる側面紹介します～ ②美しい文字の秘密～レタリングをしよう～ ③名前の文字がしゃべり出す!～すてきな由来をプレゼンテーション～ ④希望がわいてくる!スペシャルリンク! 【3学期】 ①MYモダンテクニク② ②感性の絵本～偶然からつづる物語～ ③気持ち玉プロジェクト	・対象の観察をし、自身の表現として可視化した作品の客観的な観察(R)を繰り返す過程で、新たな目標(V)を見出し、さらなる表現意欲を増していく(G)といった、創作におけるVGRサイクルの基礎基本を身につけることができる。 「上手、下手」といった価値観で物事を測らず、二生懸命創造活動ができる(G)基礎的な表現力を身に付けている。 様々な作品に出会い意見を交わすなどし、造形や色彩についての基礎的な鑑賞の着眼点を身に付け、自他の作品や多様な感性を大切にすることができている(R)。
			・学習方法 表現活動⇄鑑賞活動(相互鑑賞含む)

図1: 美術におけるVGR関連イメージ



# 岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【書道科】

## 1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒

## 2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	・多様な表現活動や鑑賞活動を通して、自らの表現を追求する。(VGR) ・自他の作品から感じたことや考えたことを自分の言葉で表現し、他者へ伝える力も身につけ、生涯にわたって書を愛好する心情を育む。(R)
発展期 (高1)	・国語科書写から芸術科書道への円滑な接続を意識しつつ、多様な書表現や価値観に触れることを通して、自らの表現の幅を広げる。(V)(R)
充実期 (中2中3)	※中学には書道科がない。 ・国語科書写において、基礎的な書写技能の向上を図るとともに、自らの表現のよさや課題を客観的に捉え、考える力を身につける。(V)(R)
基礎期 (中1)	※中学には書道科がない。 ・国語科書写において、書写の基礎的な知識技能を身につけるとともに、書を楽しみながら一生懸命活動に向かう姿勢を育む。(G)

## 3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3	【深化期】 創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。	・漢字の書(篆書・隸書・草書・行書・楷書) ・仮名の書(古筆臨書) ・刻字 ・漢字仮名交じりの書 ・実用書	・作品の完成イメージや制作の見通しを持ち、それに対して自身の課題を考え、試行錯誤しながら、自らの表現を追究することができる(VGR)
高2			・表現や鑑賞活動を通して、自他の作品について、感じたことや考えたことを自分の言葉で表現し、他者に伝えることができる。(V)(R)  (学習方法)表現活動と鑑賞活動から学ぶ
高1	【発展期】 幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解する。	・オリエンテーション(書写から書道へ) ・篆刻(篆書の学習) ・漢字の書(楷書・行書) ・漢字の創作 ・篆刻(篆書の学習) ・仮名の書 ・漢字仮名交じりの書	・作品の完成イメージや制作の見通しを持ち、それに対して自らの課題を考え、試行錯誤しながら活動に取り組むことができる。(VGR)  ・自他の作品の鑑賞活動を通して、多様な表現や価値観を認め、自分の表現の幅を広げようとしている(V)(R)  (学習方法)表現活動と鑑賞活動から学ぶ
中3	※中学には書道科がない。  ・身の回りにある文字に関心を持ち、豊かな文字文化に親しむ。 ・目的や場面に応じて、表現効果や伝達効果について考え、表現できるようにする。	・行書の学習(毛筆・硬筆) ・規格や用途に適した字の大きさや書体について学ぶ ・暮らしのなかの書(手紙の書き方)	・表現対象をよく観察し、完成イメージ(その過程も含む)を考えるとともに、自らの表現のよさや課題についても客観的に考えることができる(V)(R)  ・表現活動や身の回りの文字文化に触れることを通して、書を楽しみ、主体的に書写の知識技能を高めようとしている。(G)  (学習方法)表現活動と鑑賞活動から学ぶ
中2			
中1	※中学には書道科がない。  ・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書くことができる。 ・行書の基礎的な書き方を理解し、その技能を高める。	・楷書の学習(毛筆・硬筆) ・文字の変遷について学ぶ ・行書の学習(毛筆・硬筆)	・表現対象をよく観察し、完成イメージ(その過程も含む)を考えるとすることができる。(V)(R)  ・書を楽しみながら、一生懸命活動に取り組み、基礎的な書写の知識技能を身につけようとしている。(G)  (学習方法)表現活動と鑑賞活動から学ぶ

岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【総合探究(iP)】

1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒

2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	【VG】自己実現、進路実現のための探究活動を行い、実現への意欲と可能性を高める。また、【GR】研究活動・発表を通して主体性や協働力をさらに高める。
発展期 (高1)	【V】自己実現、進路実現の基礎知識・スキルを身に付ける。また、【GR】グループでの課題解決活動等を通して主体性や協働力を高める。
充実期 (中2中3)	・【V】ディベートや課題探究活動を通して、課題解決への意識や課題解決に必要な能力の基礎を身に付けるとともに、他者に自らの考えを効果的に伝えるための表現力の基礎を身に付ける。 ・【GR】職場体験・修学旅行を通して、日本や世界を知る取組を行う。
基礎期 (中1)	・【V】思考や表現に関わる多様な活動を通して、論理的な思考力や物事を多角的に見る力を養い、自らの考えを他者に分かりやすく伝える表現力の基礎を身に付ける。 ・【GR】観光パンフレットや新聞作り、企画の提案を通して地域を知り、地域の課題を自らの課題として捉える取組を行う。

3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3	【深化期】 それぞれが探究してきたテーマをもとに自らの進路を実現し、次のステージでの研究活動につなげていくことができる。自分の研究を進路実現に生かしたり、研究の成果を文章で表現、発信することができる。	【入試研究】 ・入試内容研究 ・入試研究講演会 ・自己実現講座(志望理由書講座、面接講座、小論文講座) 【グループ研究】 ・研究のまとめ ・研究成果の文章化	【入試研究】 ・入試内容を研究したり講演を聞いたりして、進路実現への意欲を高める。 ・関心のある講座を受講し、自己実現に向けた意欲を高める。 【グループ研究】 ・研究報告集を読み、研究の振り返りを行う。 ・研究成果を文章でまとめて発信力を高める。
高2	自己実現に向けて、自らの生き方や進路について考察することにより、自らの進路と現在学んでいる学問との関係性を見いだし、今学んでいる内容をより深化させることで進路への意識の向上を図る。あわせて、学びたい内容について仮説を立て、その検証の過程を論理的に探究し表現することができる。	【進路研究】 ・大学内容研究 ・進路研究講演会 【グループ研究】 ・研究発表会	【進路研究】 ・大学の研究内容について主体的に調べたり、講演を聞いたりすることで、進路に関する関心を深め、進路実現への意欲を高める。 【グループ研究】 ・高校での学習内容や、大学で学びたい内容への関心を深める。 ・追究したい課題を自分たちで設定し、仮説・検証を通して解決に導く力を身に付ける。 ・情報収集や分析考察、プレゼン能力などの科学的リテラシーを高める。 ・グループ活動を通して協働力を身に付ける。
高1	【発展期】 自己実現に向けて、自らの生き方や進路について考察することにより、自らの進路に見合う課題を見いだし、情報を収集し、解決する力を身に付ける。あわせて、問題解決の過程を論理的に表現する力を身に付ける。	【職業・大学研究】 ・職業大学研究発表会 ・社会人講師による職業紹介 ・大学講師による学問紹介 【論理・課題解決・表現】 ・論理的な文章力(小論文) ・ミニ課題研究	【職業・大学研究】 ・職業や大学の内容について主体的に調べること、関心を深め、視野を広げる。 ・調べた内容について共有する発表会を行うことで、さらに視野を広げ、同時に発信力を養う。 ・外部講師による実際の講演を聞き、さらに関心を深める。 【論理・課題解決・表現】 ・論理的な段落構成で小論文を書く力を身に付ける。 ・仮定やモデル化を駆使し、協働して難題の答えを導く力と、それを論理的に発表する力を身に付ける。 ・論点を明らかにしながら、説得力のある議論を展開する力を身に付ける。
中3	【充実期】 一人一人の研究の課題探究活動に取り組みながら、論文やポスター作成の型を学び一連の流れを体験する。 ・他者の考えを聞いたり、情報を収集整理したりする活動を踏まえ、自らの考えを論理的かつ他者にわかりやすく、効果的に伝えるための言語運用能力、表現力、プレゼン力の基礎を身に付ける。 ・自ら課題を設定し、探究の道筋を踏まえながら、課題解決への意識や課題解決に必要な能力の基礎を身に付け、さらに高次の課題発見・解決につなげる態度を身に付ける。 ・職場体験に「日本を知る」、修学旅行に「世界を知る」活動としても取り組む。 ・ディベートに取り組むことで、視野を広げ、社会に対する関心をより深めつつ、説得力ある建設的な主張の仕方を体得する。	【課題探究】 ・課題探究活動 ・発表のための論文やポスター作成 ・課題探究活動発表会(ポスターセッション) ・修学旅行に係る準備活動及び成果まとめ活動	【課題探究】 ・【G】自ら探究した成果を他者にわかりやすく伝えるためのポスターを作成することができる。 ・【V】ポスターセッションを通して自らの考えをわかりやすく他者に説明するとともに、他者との交流によって視野を広げ、自分の考えを深めることができる。 ・【R】修学旅行を「世界を知る」取り組みとして捉え、世界都市としての東京を肌で感じるとともに、修学旅行での学びが実りあるものになるよう、目的に応じた事前準備を入念に行い、成果まとめ活動につなげることができる。
中2	【基礎期】 論理的思考ツールを習得し、発想力を豊かにするとともに、思考や表現するための基礎的な力を身に付ける。 ・「地域を知る」取り組みの中で、地域の人と交流しながら地域の良さを再認識するとともに、観光パンフレットや新聞作りを通して、情報収集・整理やパンフレット、新聞構成の基礎、企画書の作成方法を身に付ける。	【エクスプレッション・課題探究】 ・多様な内容の講話 ・資料の読み取りや資料活用能力を養う活動 ・ディベート ・職場体験	【エクスプレッション・課題探究】 ・【V】資料の読み取りや資料活用能力を養う活動を各教科の学びと結びつけて考えることができる。 ・【G】ディベートやそのディベートに至るまでの準備活動に、ここまで習得してきたことを活用しながら取り組むことができる。 ・職場体験を、職業理解のためだけでなく、「日本を知る」活動としても取り組むことができる。
中1	【基礎期】 論理的思考ツールを習得し、発想力を豊かにするとともに、思考や表現するための基礎的な力を身に付ける。 ・「地域を知る」取り組みの中で、地域の人と交流しながら地域の良さを再認識するとともに、観光パンフレットや新聞作りを通して、情報収集・整理やパンフレット、新聞構成の基礎、企画書の作成方法を身に付ける。	【エクスプレッション・課題探究】 ・論理的思考ツール(カルタ・質問法・論理フォーマット等) ・風景画や人物画、四コマ漫画の分析 ・創作劇の上演(十六夜祭) ・言語学習 ・意見文 ・フィールドワーク ・地域の方による講演、指導講評 ・観光パンフレットや新聞、企画書の作成・発表	【エクスプレッション・課題探究】 ・絵を分析することで、状況的的確に捉えたり、物事を多角的に捉えたりする力を養う。 ・個人での学びや思考によって自らの発想力や思考力を養うことができる。 ・【V】ペア学習やグループ学習を通して自分の考えを他者に伝えるとともに他者の意見や考えを知ることによって物事の考え方や見方を広げることができる。 ・スピーチ学習によって、自分の考えを的確に伝えるための工夫を取り入れながらスピーチできる。 ・【R】グループでの観光パンフレットや新聞作り、企画書作りを通して、情報収集・整理・構成の仕方について学び、他者に伝えたいことを的確に伝えるパンフレットを作成することができる。 ・グループでの観光パンフレットや新聞作り、企画書作りを通して、地域への理解を深める。

岡山県立津山中学校・高等学校 6年間の学習指導計画【サイエンス科】

1. 教育目標(令和5年度 津山中学校・高等学校 学校経営計画書 ⅢA《生徒の姿》より)

- |  |
|--|
| 1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒 |
| 2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒                         |
| 3 心身ともに健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒           |
| 4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒                 |
| 5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献する生徒                     |

2. 指導の方針

深化期 (高2高3)	高2・3年次を「問題解決力育成期」と位置づけ、研究グループでの課題研究を実施し、【G・R】問題解決力を育成する。構想発表会や中間発表会、校内発表会を行い、【G・R】専門家との質疑を経ることで、研究の向上を図る。また、高校3年次では特に目標に向かう力(【V】キャリア形成力)を育成する。
発展期 (高1)	「研究基礎力育成期」と位置づけ、【R】仮説検証の手法や論理的思考力、実験スキル、情報機器活用などの研究基礎力を育成する。特に理数科では、様々な分野での探究活動を行う。併設中学校での課題研究経験者のスキルを【G・R】「教え合い・学び合い」によって、進学生と入学生との混成グループを編成し、【V・R】協働で活動を行う。
充実期 (中2中3)	中学2年を「問題発見力育成期」と位置づけ、【V】科学に対する興味関心や【G・R】問題発見力と、発表のための表現力をグループ活動を通して育成する。中学3年における課題研究に係る取組を「研究基礎力育成期」と位置づけ、【V】科学に対する興味関心・【G・R】仮説検証の手法や論理的思考力、実験スキル、情報機器活用などの研究基礎力を個人研究を通して育成する。
基礎期 (中1)	高校での課題研究の充実に向け、中学校での課題研究に係る取組を「問題発見力育成期」と位置づけ、【V】科学に対する興味関心・【R】変数の設定などの方法などの【G・R】問題発見力と、発表のための表現力をグループ活動を通して育成する。

3. 指導計画

	・学習目標	・学習内容	・育てたい力、学習者の姿 ・思考力、発信力、主体性を育む学習方法
高3	高2・3年次を「問題解決力育成期」と位置づけ、【G・R】問題解決力を育成する。発表会を行い、【G・R】専門家との質疑を経ることで、研究の向上を図る。高3年次では特に、目標に向かう力(【V】キャリア形成力)を育成する。	(普通科人文コース) iP II・III <選択>SS I・II  (普通科自然コース) iP II・III <選択>NS/MS I・II  (理数科) S探 II・III, SL II <選択>NS/MS I・II, SSE	・研究グループでの課題研究を実施し、【G・R】問題解決力を育成する。「津山サイエンスネットワーク」を活用した、外部講師(専門家4名)や、卒業生による指導を加える。普通科及び理数科では構想発表会や中間発表会、校内発表会を行い、【G・R】専門家との質疑を経ることで、研究の向上を図る。 ・課題研究を通して身に付けた資質や興味関心をもとに、大学での研究分野を選択し、目標に向かう力(【V】キャリア形成力)を育成する。 ・課題研究のまとめと振り返り ・研究分野選択とキャリア実現
高2			
高1	【発展期】 「研究基礎力育成期」と位置づけ、【R】仮説検証の手法や論理的思考力、実験スキル、情報機器活用などの研究基礎力を育成する。【G・R】「教え合い・学び合い」によって、進学生と入学生との混成グループを編成し、【V・R】協働力を育成する	(普通科) iP I, SL I (理数科) S探 I, SL I	【R】仮説検証の手法や論理的思考力、実験スキル、情報機器活用などの研究基礎力を育成する。特に理数科では、2年次課題研究の内容を高めるため、「S探 I」で様々な分野に対する探究活動を行うとともに、2年次課題研究テーマ設定への丁寧な指導を行う。「S探 I」「iP I」では、併設中学校での課題研究経験者のスキルを【G・R】「教え合い・学び合い」によって、他の中学校からの入学生へと広めるため、併設中学校からの進学生と、他の中学校からの入学生との混成グループを編成し、【V・R】協働で活動を行う。さらに指導には中学校教員も加わることで、中高の円滑な接続と課題研究の内容の向上を図る。 ・プレゼンテーション作成・発表演習・情報機器活用・データ処理・情報倫理・社会人講座、岡山大学学部学科講座・グループによる課題解決活動・ディベート演習・ディベート大会・物理・化学・生物3分野の探究活動・ミニ課題研究、ポスター作成、発表
中3	高校での課題研究の充実に向け、中学校での課題研究に係る取組を「研究基礎力育成期」と位置づけ、【V】科学に対する興味関心・【G・R】仮説検証の手法や論理的思考力、実験スキル、情報機器活用などの研究基礎力を個人研究を通して育成する。	(中3) ・サイエンス探究基礎(週1時間) ・課題探究活動(週2時間) 「イングリッシュ」ロード(週1時間)	
中2	高校での課題研究の充実に向け、中学校での課題研究に係る取組を「問題発見力育成期」と位置づけ、【V】科学に対する興味関心・【R】変数の設定などの方法などの【G・R】問題発見力と、発表のための表現力をグループ活動を通して育成する。	(中1・2) ・サイエンス探究基礎(週1時間) 「イングリッシュ」ロード(週1時間) エクスペリメンテーション(週1時間) 課題探究活動(週1時間)	【V】科学に対する興味関心・【R】変数の設定などの方法などの【G・R】問題発見力と、発表のための表現力をグループ活動を通して育成するため、選択教科と総合的な学習の時間を活用し、高校教員とのTTで次の取組を行う。 ・FOSSIにもとづく探究的実験による変数設定法 ・観察・実習 ・英語スピーチ ・英語ディスカッション ・弁論作成と発表 ・ディベート ・グループによる探究的な活動 ・インターンシップ
中1			